



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

〈報道関係のみなさま〉

第29回手塚治虫文化賞「マンガ大賞」最終候補 に7作品 予想投票・応援メッセージを募集 抽選で記念ピンバッジをプレゼント

株式会社朝日新聞社(代表取締役社長:角田克)が主催する第29回手塚治虫文化賞のマンガ大賞に、下記の7作品が最終候補作品としてノミネートされました。2024年に刊行・発表されたマンガ作品を選考の対象にしています。最終選考委員会を経て4月下旬ごろ、朝日新聞朝刊、デジタル版、プレスリリース等で、新生賞、短編賞、特別賞と共に発表します。贈呈式は6月5日(木)に朝日新聞東京本社で開く予定です。



◆マンガ大賞最終候補作品 (敬称略)

『Battle Scar』 蔵本千夜 (KADOKAWA)

『1秒24コマのぼくの人生』 りんたろう (河出書房新社)

『【推しの子】』 赤坂アカ×横槍メンゴ (集英社)

『海が走るエンドロール』 たらちねジョン (秋田書店)

『地図にない場所』 安藤ゆき (小学館)

『胚培養士ミズイロ』 おかざき真里 (小学館)

『ブスなんて言わないで』 とあるアラ子 (講談社)



※7名の社外選考委員による投票と、一般、マンガ関係者、書店員からの推薦をもとに選ばれました。
(推薦の得票1位は『Battle Scar』)

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 広報・ブランド推進部

TEL 03-5540-7617 FAX 03-3541-8999

E-mail tezukapriz@asahi.com

>

contact



press release

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

◆第29回選考委員

秋本治さん(漫画家)、里中満智子さん(マンガ家)、高橋みなみさん(タレント)、中条省平さん(学習院大学フランス語圏文化学科教授)、トミヤマユキコさん(ライター・東北芸術工科大学芸術学部准教授)、南信長さん(マンガ解説者)、矢部太郎さん(芸人・漫画家)の7名と、社内から坂尻顕吾(執行役員・編集担当)と渡部薫(東京本社文化部長)の2名です。

◆マンガ大賞の予想投票・応援メッセージを募集します



どの候補作品がマンガ大賞に輝くかを予想する投票と応援メッセージを募集します。マンガ大賞受賞作品に投票した方から抽選で50名に第29回記念ピンバッジ「ヒョウタンツギ」(限定、非売品)＝写真＝をプレゼントします。投票は応募サイト (<http://t.asahi.com/tezuka29pr>)から。3月31日(月)締め切りです。

なお、当選者の発表は、6月下旬の発送をもってかえさせていただきます。

◆手塚治虫文化賞

日本のマンガ文化の発展、向上に大きな役割を果たした手塚治虫氏の業績を記念し、志を継いでマンガ文化の健全な発展に寄与することを目的に、手塚プロダクションのご協力を得て朝日新聞社が1997年に創設しました。年間を通じて最も優れた作品に贈るマンガ大賞のほか、新生賞、短編賞、特別賞があり、鉄腕アトム像(横山宏氏作)＝写真＝と賞金をお贈りします。

〈公式サイト〉 <https://www.asahi.com/corporate/award/tezuka/>

【マンガ大賞】年間を通じて最も優れた作品

【新生賞】斬新な表現、画期的なテーマなど清新な才能の作者

【短編賞】短編、4コマ、1コマなどを対象に作品・作者

【特別賞】マンガ文化の発展に寄与した個人・団体



>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 広報・ブランド推進部

TEL 03-5540-7617 FAX 03-3541-8999

E-mail tezukaprize@asahi.com



press release

2025年2月20日

朝日新聞

朝日新聞社 〒104-8011 東京都中央区築地 5-3-2

【これまでのマンガ大賞受賞作品】

- ◆第1回 (1997年) 『ドラえもん』 藤子・F・不二雄(小学館)
- ◆第2回 (1998年) 『「坊っちゃん」の時代』 関川夏央/谷口ジロー(双葉社)
- ◆第3回 (1999年) 『MONSTER』 浦沢直樹(小学館)
- ◆第4回 (2000年) 『西遊妖猿伝』 諸星大二郎(潮出版社)
- ◆第5回 (2001年) 『陰陽師』 岡野玲子 原作:夢枕獏(白泉社)
- ◆第6回 (2002年) 『バガボンド』 井上雄彦 原作:吉川英治『宮本武蔵』(講談社)
- ◆第7回 (2003年) 『黄色い本 ジャック・チボーという名の友人』 高野文子(講談社)
- ◆第8回 (2004年) 『ヘルタースケルター』 岡崎京子(祥伝社)
- ◆第9回 (2005年) 『PLUTO(プルートウ)』 浦沢直樹/手塚治虫
プロデュース:長崎尚志 監修:手塚眞 協力:手塚プロダクション (小学館)
- ◆第10回 (2006年) 『失踪日記』 吾妻ひでお(イースト・プレス)
- ◆第11回 (2007年) 『舞姫 テレプシコーラ』 山岸涼子(メディアファクトリー)
- ◆第12回 (2008年) 『もやしもん』 石川雅之(講談社)
- ◆第13回 (2009年) 『大奥』 よしながふみ(白泉社)
『劇画漂流』 辰巳ヨシヒロ(青林工藝舎)
- ◆第14回 (2010年) 『へうげもの』 山田芳裕(講談社)
- ◆第15回 (2011年) 『JIN-仁-』 村上もとか(集英社)
『竹光侍』 松本大洋 作:永福一成(小学館)
- ◆第16回 (2012年) 『ヒストリエ』 岩明均(講談社)
- ◆第17回 (2013年) 『キングダム』 原泰久(集英社)
- ◆第18回 (2014年) 『3月のライオン』 羽海野チカ(白泉社)
- ◆第19回 (2015年) 『逢沢りく』 ほしよりこ(文藝春秋)
- ◆第20回 (2016年) 『鼻紙写楽』 一ノ関圭(小学館)
『よつばと!』 あずまきよひこ(KADOKAWA/アスキー・メディアワークス)
- ◆第21回 (2017年) 『花に染む』 くらもちふさこ(集英社)
- ◆第22回 (2018年) 『ゴールデンカムイ』 野田サトル(集英社)
- ◆第23回 (2019年) 『その女、ジルバ』 有間しのぶ(小学館)
- ◆第24回 (2020年) 『ニクスの角灯』 高浜寛(リイド社)
- ◆第25回 (2021年) 『ランド』 山下和美(講談社)
- ◆第26回 (2022年) 『ち。-地球の運動について-』 魚豊(小学館)
- ◆第27回 (2023年) 『ゆりあ先生の赤い糸』 入江喜和(講談社)
- ◆第28回 (2024年) 『プリニウス』 ヤマザキマリ とり・みき(新潮社)

>

contact

〈お問い合わせ〉

朝日新聞社 広報・ブランド推進部

TEL 03-5540-7617 FAX 03-3541-8999

E-mail tezukapriz@asahi.com